

## 全国における生態系ネットワークの取組状況

### ■生態系ネットワーク全国フォーラム

国土交通省・農林水産省・環境省の3省が連携して、生態系ネットワークの取組みを推進しています。また、全国30市町（2020年2月時点）の首長からなる「水辺からはじまる生態系ネットワーク全国会議」が開催され、互いの情報が共有されています。

2017年から生態系ネットワークをテーマとしたフォーラムが開催されており、2020年は1月30日に「第4回水辺からはじまる生態系ネットワーク全国フォーラム」が行われました。

■日時：令和2年1月30日（木） 14:00～17:00

■会場：一橋大学一橋講堂（東京都千代田区）

■目的：生態系ネットワークの重要性や先進的な事例について広く紹介し、普及・啓発を推進する

■主催：国土交通省

■共催：農林水産省、環境省

■プログラム：

◆基調講演

タイトル「水辺からはじまる生態系ネットワーク」

関島 恒夫 新潟大学農学部 教授

◆地域における取組紹介とパネルディスカッション

テーマ「生態系ネットワークを通じた地域活性化」

【コーディネーター】

関島 恒夫 新潟大学農学部 教授

【パネリスト】

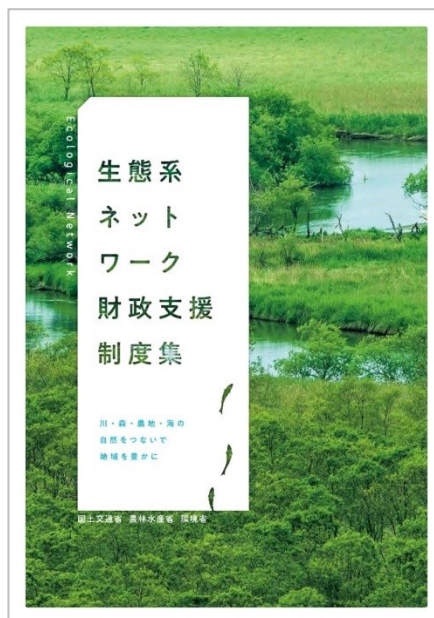
戸川 雅光 北海道長沼町長

金丸 治子 イオン株式会社 環境・社会貢献・PR・IR 担当付 担当部長

呉地 正行 日本雁を保護する会 会長

高村 裕平 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課長

河川を基軸とした生態系ネットワークの形成を紹介したパンフレット、各地の生態系ネットワーク形成の取組みを支援する国土交通省・農林水産省・環境省の制度を紹介したパンフレットが発行されています。



## ■各地方・流域の生態系ネットワーク推進協議会

様々な主体が参加・協力して、全国各地で河川を基軸とした生態系ネットワークに関する協議会が設立されています。2019年7月には、北陸地方では初となる「越後平野における生態系ネットワーク推進協議会」が設立されました。

No.	地方・流域（地域）	協議会	設立年	指標種	構想・計画等
	北海道地方	—	—	—	—
①	石狩川流域	タンチョウも住めるまちづくり推進協議会	2016年9月	タンチョウ	「タンチョウも住めるまちづくり検討協議会の取組方針」（2017.3、2018.3）
②	東北地方	東北生態系ネットワーク推進協議会	2017年12月	ガン類、ハクチョウ類等	「東北生態系ネットワーク推進基本計画」（2018.11）
	—	—	—	—	—
③	関東地方	関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会	2014年2月	コウノトリ、トキ	「関東地域におけるコウノトリ・トキを指標とした生態系ネットワーク形成基本構想」（2015.3） 「関東地域におけるコウノトリ・トキを指標とした生態系ネットワーク形成基本計画」（2016.3）
④	江戸川・利根川・利根運河地域	コウノトリの舞う地域づくり連絡協議会	2014年1月	コウノトリ	「コウノトリ等の多様な生物と共生する地域づくりのための行動計画」（2017.3）
⑤	利根川流域	渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク推進協議会	2015年11月	コウノトリ、トキ	策定中
⑥	荒川流域	荒川流域エコネット地域づくり推進協議会	2017年11月	コウノトリ、トキ	策定中
	北陸地方	—	—	—	—
⑦	越後平野	越後平野における生態系ネットワーク推進協議会	2019年7月	ハクチョウ類、トキ	策定中
	中部地方	—	—	—	—
⑧	木曾川流域	木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会	2015年1月	イタセンパラ等	「木曾三川流域生態系ネットワーク全体構想」（2016.3）
	近畿地方	—	—	—	—
⑨	九頭竜川流域他	福井県流域環境ネットワーク協議会	2015年10月	コウノトリ等	—
⑩	円山川流域	コウノトリ野生復帰推進連絡協議会	2003年7月	コウノトリ	「コウノトリ野生復帰推進計画」（2003.3） 「コウノトリ野生復帰推進計画（2期）」（2012.3）
	中国地方	—	—	—	—
⑪	斐伊川流域	斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会	2015年4月	コウノトリ、トキ、ガン類、ツル類、ハクチョウ類	策定中
⑫	四国地方	四国圏域生態系ネットワーク推進協議会	2018年2月	コウノトリ・ツル類	「四国圏域生態系ネットワーク全体構想」（2019.2）
⑬	吉野川流域	吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会	2017年10月	コウノトリ・ツル類	「吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク全体構想」（2019.2）
	九州地方	—	—	—	—
⑭	遠賀川流域	遠賀川流域生態系ネットワーク検討委員会	2015年2月	サケ等	「遠賀川流域における生態系ネットワーク形成のための取組方針」（2018.8）

■全国各地における生態系ネットワーク形成の取組み

①石狩川流域

- | タンチョウも住めるまちづくり推進協議会
- | 2016年9月～

②東北地方

- | 東北生態系ネットワーク推進協議会
- | 2017年12月～

③関東地方

- | 関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会
- | 2014年2月～

④江戸川・利根川・利根運河地域

- | コウノトリの舞う地域づくり連絡協議会
- | 2015年1月～

⑤利根川流域

- | 渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク推進協議会
- | 2015年11月～

⑥荒川流域

- | 荒川流域エコネット地域づくり推進協議会
- | 2017年11月～

⑦越後平野

- | 越後平野における生態系ネットワーク推進協議会
- | 2019年7月～

⑧木曾川流域

- | 木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会
- | 2015年1月

⑨九頭竜川流域他

- | 福井県流域環境ネットワーク協議会
- | 2015年10月

⑩円山川流域

- | コウノトリ野生復帰推進連絡協議会
- | 2003年7月

⑪斐伊川流域

- | 斐伊川水系生態系ネットワークによる  
大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会
- | 2015年4月

⑫四国地方

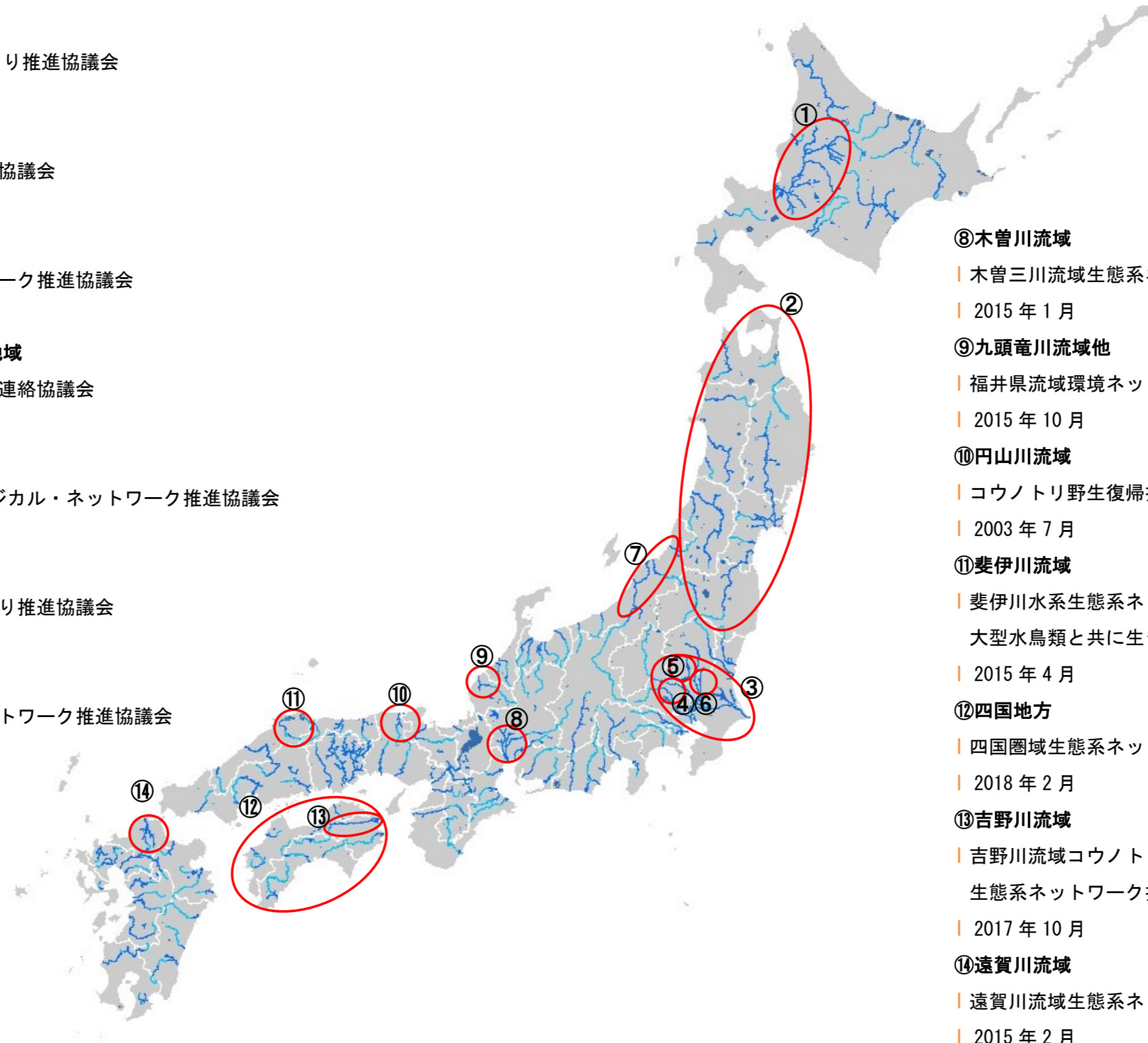
- | 四国圏域生態系ネットワーク推進協議会
- | 2018年2月

⑬吉野川流域

- | 吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う  
生態系ネットワーク推進協議会
- | 2017年10月

⑭遠賀川流域

- | 遠賀川流域生態系ネットワーク検討委員会
- | 2015年2月







日時 令和2年1月30日(木)  
14時~17時 開場13時30分  
会場 一橋大学一橋講堂

第4回

水辺から

はじまる

生態系

ネットワーク

全国フォーラム

主催 国土交通省  
共催 農林水産省  
環境省  
後援 全国知事会  
全国市長会  
全国町村会



(公社)土木学会認定CPDプログラム

第4回

# 水辺から

# はじまる

# 生態系

# ネットワーク

# 全国フォーラム

森林や農地、都市をつなぐ川は、日本の生態系ネットワーク\*の基軸であり、まとまった自然環境を保つ重要な空間です。国土交通省では、長年にわたり、河川の整備を、流域の市町村、NPO、学校などの多様な主体と取り組んでいます。川の中を主とした取組から、流域の「河川を基軸とした生態系ネットワークの形成」へと視点を広げ、流域の農地や緑地などの施策等とも連携し、魅力的で活力ある地域づくりを支援しています。そこで今回、生態系ネットワークの取組を地域づくりにつながるアイディアの紹介を通して、地域と流域が一体となった取組がより一層推進されるよう、本フォーラムを開催いたします。

「生態系ネットワークとは」貴重な自然を保全するとともに、細切れになった自然をつなぎ、生きものの移動経路を確保したり、自然の質を回復させることによって、豊かな社会を築く取組です。

日時 令和2年1月30日(木)

14時～17時 開場13時30分

会場 一橋大学 一橋講堂

定員 400名 要事前申込み

参加費 無料

## プログラム

13時30分 開場

14時00分 開会挨拶

14時05分 全国的な取組状況の報告

国土交通省 農林水産省 環境省

14時20分 基調講演

関島恒夫 新潟大学農学部教授

15時05分 地域における取組紹介と

パネルディスカッション

「コーディネーター」

関島恒夫 新潟大学農学部教授

「パネリスト」

戸川雅光 北海道長沼町長

金丸治子 イオン株式会社

環境・社会貢献・PR・IR担当担当部長

呉地正行 日本雁を保護する会会長

高村裕平 国土交通省

水管理・国土保全局河川環境課長

16時55分 閉会挨拶

内容や出演者を変更することがあります。予めご了承ください。

## 参加お申込み

下記をご記入のうえ、Eメール、FAX、郵便のいずれかで令和2年1月28日(火)必着で、下記へお申込みください。

①お名前(ふりがな) ②所属 ③連絡先(電話番号、Eメール) ④CPDプログラム受講証明書の要・不要

\*先着順受付、定員になり次第締め切ります。受付完了のご連絡はいたしません。満席後のお申込みは、ご連絡いたします。

[CPD受講証明書の発行] 1月23日(木)までにお申込みの方には、当日、会場受付にてお渡しします。それ以降の場合は、フォーラム終了後2週間程で郵送いたします。

## お申込み・お問合せ

(公財)日本生態系協会 生態系フォーラム係  
 TEL: 03-5951-0244 FAX: 03-5951-2974  
 E-mail: forum2019@ecosys.or.jp  
 〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル

本フォーラム運営受託者  
 (公財)リバーフロント研究所 (公財)日本生態系協会



## 一橋大学 一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 2F

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩4分  
 東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩4分



# 第4回水辺からはじまる生態系ネットワーク全国フォーラムを開催

## 概要

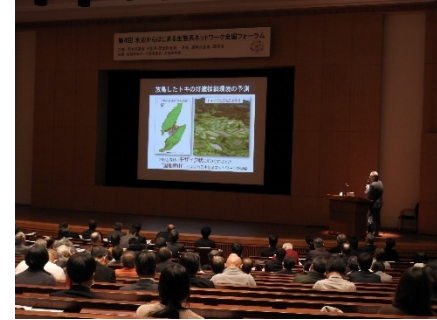
[日 時] 令和2年1月30日(木) 14:00～17:00

[会 場] 一橋大学 一橋講堂(東京都千代田区)

[目 的] 生態系ネットワークの重要性や先進的な事例について広く紹介し、普及・啓発を推進する

[出席者] 約270名

[主 催] 国土交通省 [共 催] 農林水産省、環境省



開催風景

## 主なプログラム ※敬称略

[基調講演] ▶ 関島恒夫(新潟大学 農学部 教授)

[取組紹介] ▶ 戸川雅光(北海道長沼町長)

▶ 金丸治子(イオン株式会社 環境・社会貢献・PR・IR担当付 担当部長)

▶ 呉地正行(日本雁を保護する会 会長)

[パネルディスカッション] 『生態系ネットワークを通じた地域活性化』

コーディネーター ▶ 関島恒夫(新潟大学 農学部 教授)

パネラー ▶ 上記3名 + 高村裕平(国土交通省 河川環境課長)

## [要旨]

○場の再生だけでは生物は蘇らない。環境のつながり、生態系ネットワーク形成が不可欠。その際、科学的データ、順応的管理の考えに基づき取組を進めることが重要。

○生態系ネットワーク全国会議への参加を契機に、他の自治体との交流機会が増え、他地域での先進的な取組に触発されて、菓子や日本酒等の新たな商品が次々に誕生するなど、地域が盛り上がりを見せている。

○子供たちを対象とした自治体間の交流や、企業と自治体との連携による農業体験型のプログラム等が具体化するなど、地域・分野を超えた交流・連携の機会が出てきている。

○生物との共存を掲げ生産した産物をブランド化するに当たっては、商品の背景にある取組、物語を生産者や販売者が連携して消費者に分かりやすく伝えることが重要。

○丁寧な対話の積み重ねが農家や行政等との良好な関係構築につながり、それが今、取組を進める上での原動力となっている。



関島 恒夫 氏  
(新潟大学 農学部 教授)



戸川 雅光 氏  
(北海道長沼町長)



金丸 治子 氏  
(イオン株式会社 環境・社会貢献・PR・IR担当付 担当部長)



呉地 正行 氏  
(日本雁を保護する会 会長)

3省共同で開催し、各省から挨拶と取組紹介を行った。



五道 仁実  
(国土交通省 水管理・国土保全局長)



島田 和彦 氏  
(農林水産省 技術会議事務局 研究総務官)



鳥居 敏男 氏  
(環境省 自然環境局長)



生態系ネットワークを活かした地域づくりが、地域経済の活性化に実際につながりつつあることを確認したパネルディスカッション